

TGR TEAM ZENT CERUMO

2023 AUTOBACS SUPER GT Report

FUJIMAKI GROUP FUJI GT 450km RACE

第2戦 富士スピードウェイ

ZENT CERUMO GR Supra

#38 立川祐路／石浦宏明

◆5月3日（水・祝） QUALIFY

公式予選結果 13位



2023年のSUPER GT開幕戦となった4月15～16日の第1戦岡山では、目まぐるしく変わる天候のなかでピットストップをしっかりとこなし、5位まで追い上げを果たしたTGR TEAM ZENT CERUMO。ただ、第1戦で足りなかったのはスピード。これが噛み合えば上位進出も見えてくる。チームの地元で勝手知ったる第2戦富士で、さらなるセットアップ向上を目指して臨んだ。

今回の第2戦富士は、例年恒例のゴールデンウィークの一戦。今季はコロナ禍の規制もなくなり、5月3日（水・祝）の前日からすでに多くのファンが各コーナーでキャンプを開始するなど、予選日から多くのファンが訪れた。そんななか、午前9時05分から始まった公式練習で、ZENT CERUMO GR Supraは午後の予選に向けコースインしていった。

まずZENT CERUMO GR Supraのステアリングを握ったのは石浦宏明。今季は3月の富士公式テストもウェットコンディションで、ドライのテストが思うように行えていなかったことから、チームは昨シーズンの実績をもとにしたセットアップを施し持ち込んでいた。途中赤旗中断をはさみながら、石浦



TGR TEAM ZENT CERUMO

は ZENT CERUMO GR Supra の感触を確かめながら、6 周目に 1 分 28 秒 220 を記録。12 周を走り、持ち込みのセットアップが良好であることを確認しピットに戻ると、その後のメニューを託すべく立川祐路に交代した。



立川にとっても ZENT CERUMO GR Supra の感触は良好。ピットアウト～インを繰り返しながら、26 周という多くのラップをこなしていくと、終了間際の 25 周目には 1 分 28 秒 107 をマーク。7 番手で公式練習を締めくくった。今回は公式練習後もフルコースイエローの訓練、さらにひさびさに行われたサーキットサファリなど多くの走行機会があったが、ここではふたたび石浦がステアリングを握り、ロングランなどの確認を行っていった。

午前の時点で、ZENT CERUMO GR Supra にはしっかりとしたスピードがあることが確認できた。これを上位グリッド獲得へ活かすべく、TGR TEAM ZENT CERUMO はしっかりと準備を整え、午後の公式予選に臨んだ。開始時のコンディションは気温 20 度、路面温度 32 度。午前よりはやや下がっていた。

GT300 クラスの予選 Q1 に続き、午後 3 時 48 分にスタートした GT500 クラスの予選 Q1。アタッカーを務めた石浦宏明は、3 周を費やしタイヤをウォームアップさせていくと、計測 4 周目にアタックラップに入っていた。ただ今回、コースインした ZENT CERUMO GR Supra の前に何台もの車両があり、石浦はセクター 3 で間隔を作ってからアタックを行った。



しかし、アタック周の TGR コーナーへのブレーキングで、ZENT CERUMO GR Supra のフロントから白煙が上がる。まさかのオーバーシュートを喫してしまったのだ。なんとかグラベルに入ってしまうことは避けたが、ここでフロント



TGR TEAM ZENT CERUMO

タイヤにダメージを負ってしまう。前車との間隔を作るために、タイヤに十分に熱が入っていなかったのでは……というのが石浦の分析だ。

コースには戻ったものの、タイヤからは大きなバブレーションが出たこともあり、石浦はピットに戻ろうかとも考えたが、なんとかチェッカーが出されるまでに安全マージンを見ながら、6周目のアタックチャンスに賭けた。

ここで石浦は1分27秒704を記録するが、結果は13番手というものに。バブレーションがあったなかでこの位置につけたことから、ZENT CERUMO GR Supra のポテンシャルが高いことは間違いなかった。ただ予選後、痛めたタイヤをチェックした結果、決勝レーススタートでの使用は厳しいことが判明してしまう。

予選結果は13番手だが、ZENT CERUMO GR Supra は5月4日（木・祝）の決勝レースはタイヤ交換を行ってのピットスタートが濃厚だ。とはいえ長丁場の450kmであり、この富士はオーバーテイクもしやすいコース。TGR TEAM ZENT CERUMO は第1戦と同じく、12番手からの上位進出を目指していく。



ドライバー／立川祐路

「走り出しから石浦選手から良いフィードバックを得ていましたし、僕に交代してからもフィーリングは良いものでした。公式練習は順調で、予選に向けても持ち込みのセットアップからほとんど変更しておらず臨むことができました。昨シーズン後半の感触に戻ってきているので、手ごたえがありました。ただ今季、タイヤの持ち込み本数が減ったことでタイヤの種類の比較ができないので、どのタイヤを選ぶのが難しいですね。今回選んだタイヤはコンディションにも合っていたと思いますし、その点でも手ごたえはありますね。残念ながら予選は予想外の結果になってしまいましたが、石浦選手も全力を尽くした結果です。明日どうやって取り返すかに今は全力を尽くしていきたいです。長いレースなので、チャンスはあると思っています」



TGR TEAM ZENT CERUMO

ドライバー／石浦宏明

「今回のレースに向けては、富士でドライのテストが行えていないなかで、実績があるセットアップで持ち込みましたが、走り出しから比較的フィーリングが良く、予選に向けても持ち込みの状態での臨むことにしました。ただ予選 Q1 では硬めのタイヤで臨みましたが、コースイン後にまわりに何台かいた状態でした。そこでアタックに向けた場所取りを行っていたのですが、セクター 3 でブッシュしていなかったせいか、タイヤの温まりが足りないようでした。そこで TGR コーナーでフロントをロックさせてしまって。バインディングがひどかったのがピットに戻ろうかとも思いましたが、その状態でアタックした結果、13 番手となりました。パフォーマンスとしては Q1 を突破できるものがありましたし、アタック周もかなり落とした状態で 13 番手だったので、チームに申し訳ないと思っています。また決勝の戦略に影響してしまうので、なんとか最小限のロスにできるようにしたいですし、挽回したいと思っています。そのペースはあると思いますし、長いレースなのでなんとか追いつきたいですね。」

村田淳一監督

「スピードが不足していた第 1 戦岡山大会後にエンジニア、メカニックが頑張ってくれて、クルマをすべて見直してくれました。その甲斐もあってクルマは大きく改善していますし、オフの状態から一步步前進しています。それが公式練習の結果に表れたのではないのでしょうか。ただ予選は、残念な結果になってしまいましたね。いろんな兼ね合いでああいったミスが出てしまったと思うので、チームとして何か出来なかったかを考えていきたいですね。決勝ではタイヤ 2 本交換になってしまうのでピットスタートとなりそうですが、長丁場のレースはセーフティカーや FCY が出る可能性も増えますし、その状況にしっかり対応しつつ、うまく戦ってポイント獲得が出来る位置まで挽回したいですね。」



TGR TEAM ZENT CERUMO



ZENT

GR TOYOTA
GAZOO
Racing

BRIDGESTONE

PMU
RACING PADS

HEISEL

ELK HOMES

Felix88
Beautiful Life

Fosbury

WAKOS

SANKI SHOKAI Co., LTD.

asics

トヨタ東大

Jms

**SHIMADA
BRAKE FLUID**

AVD

TGR TEAM ZENT CERUMO

予選結果

Rank	Car No.	CarName	Q2 Time	Q1 Time
1	100	STANLEY NSX-GT	1'26.420	1'27.242
2	19	WedsSport ADVAN GR Supra	1'26.496	1'27.240
3	16	ARTA MUGEN NSX-GT	1'26.609	1'26.595
4	14	ENEOS X PRIME GR Supra	1'26.743	1'26.968
5	24	REALIZE CORPORATION ADVAN Z	1'26.779	1'26.892
6	36	au TOM'S GR Supra	1'26.786	1'26.985
7	8	ARTA MUGEN NSX-GT	1'26.816	1'26.817
8	17	Astemo NSX-GT	1'26.953	1'27.189
9	3	Niterra MOTUL Z		1'27.538
10	23	MOTUL AUTECH Z		1'27.584
11	37	Deloitte TOM'S GR Supra		1'27.649
12	1	MARELLI IMPUL Z		1'27.704
13	38	ZENT CERUMO GR Supra		1'27.864
14	64	Modulo NSX-GT		1'27.912
15	39	DENSO KOBELCO SARD GR Supra		1'28.286

